

目標達成計画

作成日: 平成 21年11月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	全職員が避難訓練に参加していない為、いざという時、避難誘導する方法を共有出来ていない。又家具の固定化、非常食の備蓄、避難経路の整備など災害の際の備えが不十分である。	認知症で下肢筋力が衰えた利用者を安全に避難誘導する。常に危機意識を持ち災害に備える。	避難訓練は年2回行い、全職員が1回は参加し的に避難誘導が出来る様にする。6月と10月の推進会議の後、地域や消防の方々と避難訓練を行う。消火器や避難経路の確保(整理整頓)等の設備や非常食等の備品の整備を訓練と合わせて行う。地震に備え家具の固定をする。	12ヶ月
2	5	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し意見交換が出来ているが、市町村職員、地域包括支援センターの職員の参加が得られていない。	市町村の職員、地域包括支援センターの職員にも運営推進会議に参加していただきグループホームを知っていただく。	運営推進会議の開催について市町村や地域包括支援センターの職員の参加が得られるよう日程の調整をして行う。	6ヶ月
3	26	必要に応じて家族を交えてカンファレンスを行いご意見、ご希望を伺っているが、それ以外の利用者や家族からじっくりご希望を聴いたり、カンファレンスに参加していただく機会が作れていない。その為、本人、家族の要望の変化が的確に介護計画に反映出来ていない。	全ての利用者が生き生きと自分らしく生活出来る様、利用者、家族、必要な関係者の意見を十分に反映した介護計画にしていく。	本人と家族を交えてカンファレンスを行ったり、日頃の関わりの中でじっくり話を聴く事でご意見やご希望が反映しやすくしていく。その上で介護計画を作成し本人と家族に確認していただく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。